

アジ歴利活用促進のためのアンケート調査概要（平成 27 年度）

1 実施場所

- (1) AAS-in-Asia Conference（台湾・台北市）
調査期間： 6 月 22 日～24 日
有効回答数： 9 人
- (2) 全国歴史教育研究協議会 第 56 回研究大会（東京大学 伊藤国際学術研究センター）
調査期間： 7 月 28 日～31 日
有効回答数： 9 人
- (3) European Association of Japanese Resource Specialists(EAJRS) Conference
（オランダ・ライデン市）
調査期間： 9 月 16 日～19 日
有効回答数： 2 人
- (4) 第 17 回図書館総合展（神奈川県横浜市）
調査期間： 11 月 10 日～12 日
有効回答数： 8 人
- (5) アジ歴 HP 上でのアンケート調査
調査期間： 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日
有効回答数： 34 人

2 アンケート調査結果概要（抜粋）

○データベースの改善点について（複数回答可）

目録情報の精度向上（300 字の修正など）	13
D B に新しい項目追加	10
目録情報の現代語訳化	18
目録情報の多言語化（英語・中国・韓国・その他）	7
資料の細分化（より細かい単位で目録・画像データを作成）	16
検索機能を増やす	8
その他	4

○今後あったら良いと思う検索機能（複数回答可）

タグ検索機能（資料ごとに登録されたタグ＜テーマ・分野・地域・時代による検索＞）	20
グロッサリー検索機能（報告書・雑誌・書籍等のタイトルによる検索）	9
公文書に添付された資料の検索機能（報告書・雑誌・書籍等のタイトルによる検索）	25
英語以外の外国語による検索機能（中国語・韓国語）	6
その他	7

有効回答数 合計：62 人